九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[057] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10210

出版情報：語文研究. 57, 1984-06-03. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

例年ならば満開である筈のつゝじも、今年はまだチラホラといった有様で、その代り毛虫に喰われて無残な姿をさらす筈の葉桜が、つややかな緑をしたゝらせております。本号が果してつゝじか桜木か、先輩諸兄姉の忌憚の無い御評言を是非御聞かせ下さい。

このところ院生の数も増え、発表機関も多岐に渉るようになり、なかなか先輩諸氏の御投稿が戴けない状況でしたが、本号には横山正氏の御投稿を得ることが出来ました。新進古豪、呉越同舟の姿こそ、何にもまして本誌の発展の糧かと存じます。先輩諸氏の御遠慮は何卒御無用に願います。

奥村教授の御帰還と殆んど入れ違いの様に今度は迫野氏がソウルへ御出講、院生にも外国人四名を迎え、研究生にも三人と、当学科も甚だ国際色豊かになって参りましたのは、時の勢いでもありましょうが、確実な変化の手応えもなきにしもあらずという感想を持つ昨今です。

（N記）

執筆者紹介

安部美絵	九州大学大学院（修士課程）
岡島昭浩	九州大学大学院（修士課程）
松下博文	九州大学大学院（修士課程）
中野三敏	九州大学文学部教授
横山正	大阪教育大学名誉教授
添田建治郎	山口大学人文学部助教授
田中道雄	佐賀大学教養部教授

《規定》

一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
四、刊行は年二回（春・秋）を原則とする。
五、刊行会会費は現在年額維持会員三千円（各号二部配布）、通常会員千五百円（各号一部配布）とする。
六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。